



## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2021年8月6日

上場会社名 株式会社 アマダ 上場取引所 東  
 コード番号 6113 URL <https://www.amada.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 磯部 任  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 三輪 和彦 (TEL) 0463-96-1111  
 財務部門長  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	62,178	30.4	5,306	△38.9	5,948	△40.1	4,227	△34.3	4,179	△35.0
2021年3月期第1四半期	47,683	△26.5	8,679	83.5	9,936	99.3	6,431	72.9	6,424	75.8

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 4,321百万円 (△44.5%) 2021年3月期第1四半期 7,786百万円 (ー%)

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	12.02	ー
2021年3月期第1四半期	18.48	ー

## (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	556,079	449,918	446,066	80.2
2021年3月期	557,298	450,813	447,077	80.2

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	ー	15.00	ー	15.00	30.00
2022年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2022年3月期(予想)	ー	17.00	ー	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に帰属 する当期利益		基本的1株当たり当期 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	19.8	36,000	34.8	26,000	40.1	74.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期1Q	359,115,217株	2021年3月期	359,115,217株
2022年3月期1Q	11,452,743株	2021年3月期	11,452,346株
2022年3月期1Q	347,662,577株	2021年3月期1Q	347,665,711株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(2) 要約四半期連結損益計算書	10
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	11
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	12
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報)	14
3. 補足情報	15
受注及び販売の状況	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、前年度後半から続くワクチン接種の普及や政府の財政政策、中央銀行による金融緩和等により、北米や欧州などを中心に回復基調を強めています。このような環境のもと、資本財受注や企業の設備投資意欲も高まっており、繰越需要も含め機械受注は高い伸びを示したことで、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上収益62,178百万円（前年同期比30.4%増）となりました。売上収益の内訳は、国内19,236百万円（前年同期比1.2%増）、海外42,941百万円（前年同期比49.8%増）となりました。

営業利益は、増収や操業度の回復などにより売上利益が増加し、販売費及び一般管理費の増加も抑制されたことで5,306百万円となりましたが、前年同期の固定資産売却益等計上の影響から前年同期比では38.9%減となり、親会社の所有者に帰属する四半期利益は4,179百万円（前年同期比35.0%減）となりました。

事業別・地域別の概況については、以下のとおりです。

(事業別売上収益、営業利益の状況)

事業別	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
金属加工機械事業					
売上収益	38,806	81.4	50,821	81.7	31.0
(板金部門)	(33,714)	(70.7)	(44,969)	(72.3)	(33.4)
(微細溶接部門)	(5,092)	(10.7)	(5,852)	(9.4)	(14.9)
(調整額)	(—)	—	(—)	—	—
営業利益	8,793	—	4,183	—	△52.4
金属工作機械事業					
売上収益	8,559	17.9	11,053	17.8	29.1
(切削・研削盤部門)	(6,155)	(12.9)	(7,819)	(12.6)	(27.0)
(プレス部門)	(2,403)	(5.0)	(3,234)	(5.2)	(34.6)
(調整額)	(—)	—	(—)	—	—
営業利益又は損失(△)	△296	—	904	—	—
その他(注)					
売上収益	317	0.7	303	0.5	△4.3
営業利益	182	—	218	—	20.1
調整額					
売上収益	—	—	—	—	—
営業利益	—	—	—	—	—
合計(連結)					
売上収益	47,683	100.0	62,178	100.0	30.4
営業利益	8,679	—	5,306	—	△38.9

(注) その他は、遊休地の有効利用を目的としたショッピングセンター等の不動産賃貸事業等です。

## ① 金属加工機械事業

売上収益は50,821百万円（前年同期比31.0%増）と大幅に増加しましたが、営業利益は前年同期に固定資産売却益を計上したことなどにより4,183百万円（前年同期比52.4%減）となりました。

## &lt;板金部門&gt;

地 域	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	12,581	37.3	11,924	26.5	△5.2
海 外	21,132	62.7	33,044	73.5	56.4
（北米）	(10,272)	(30.5)	(14,297)	(31.8)	(39.2)
（欧州）	(6,090)	(18.1)	(12,065)	(26.8)	(98.1)
（アジア他）	(4,770)	(14.1)	(6,682)	(14.9)	(40.1)
合 計	33,714	100.0	44,969	100.0	33.4

(注) 本表の地域別売上収益は、顧客の所在地別の売上収益です。（以下の表も同様。）

日本：日本経済は、外需の回復等により企業活動の正常化が進み、製造業の業況も改善傾向を示しました。当社においても足元では半導体製造装置関連やサーバーラック等の5G関連、医療機器やその他、幅広い業種において急激な需要回復が見られました。政府補助金効果による受注前倒しの反面、納期の長期化傾向もあり、売上収益については11,924百万円（前年同期比5.2%減）となりました。

北米：米国経済は、政府による経済政策や金融緩和、ワクチン接種の進展などにより新型コロナウイルス感染拡大前の水準まで拡大しております。当社におきましても、企業の設備投資意欲が高まる中、労働者不足による自動化需要の拡大等も後押ししたことで、食品機械関連や空調機器、半導体製造装置関連など、多くの業界において販売が拡大し、売上収益は14,297百万円（前年同期比39.2%増）となりました。

欧州：欧州経済は、移動制限等の緩和が進む中、GDPも概ね高成長が見られました。但し、設備投資については、原材料の高騰の影響等から不透明感も残っております。このような中、当社では経済対策などの政府支援も手厚いイタリアやワクチン接種が進んでおり需要環境も強いイギリスなどを筆頭に、ほぼ全地域で大幅増収となったことで売上収益は12,065百万円（前年同期比98.1%増）となりました。

アジア他：ASEAN地域では、新型コロナウイルスの変異株の感染拡大による移動制限、操業制限に加え、原材料の高騰を受け、設備投資の回復に遅れが見られました。また半導体不足による影響が自動車のみならず様々な業種に広がっていることで、当社でも顧客の稼働に影響が生じ、販売は低調に推移しました。一方で、いち早く経済の再拡大局面に入った中国においては、5G投資や再生可能エネルギー、インフラ関連投資などの内需に加え、不透明なASEAN地域からの転注により、呼吸器等の医療機器やエレベーター、アウトドア関連等の外需も拡大しており、販売は好調に推移しました。この他、台湾や韓国、インドといった当社の主要市場においても販売が回復したことで、売上収益は6,682百万円（前年同期比40.1%増）となりました。

## &lt;微細溶接部門&gt;

地 域	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	1,028	20.2	1,127	19.3	9.7
海 外	4,064	79.8	4,725	80.7	16.3
(北米)	(896)	(17.6)	(927)	(15.8)	(3.4)
(欧州)	(934)	(18.3)	(1,059)	(18.1)	(13.4)
(アジア他)	(2,233)	(43.9)	(2,738)	(46.8)	(22.6)
合 計	5,092	100.0	5,852	100.0	14.9

景気拡大の著しい中国において自動車電装品やリチウムイオン電池向けに抵抗溶接機の販売が増加し、アジア他地域の販売が大きく伸びました。また北米、欧州、日本においても電子部品関連向けを中心に販売が増加しました。

## ② 金属工作機械事業

売上収益は11,053百万円（前年同期比29.1%増）、営業利益は904百万円（前年同期は営業損失296百万円）となりました。

## &lt;切削・研削盤部門&gt;

地 域	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	3,090	50.2	3,487	44.6	12.9
海 外	3,065	49.8	4,331	55.4	41.3
合 計	6,155	100.0	7,819	100.0	27.0

国内では建築関連向け形鋼加工機、電子部品・デバイス関連向け研削盤の販売が増加しましたが、主力市場である自動車関連向けの回復が遅れていることで、増加は小幅にとどまりました。一方で、欧米におきましては、ワクチン接種の進捗、ロックダウン等の緩和により設備稼働の回復や新規の設備導入が見られ、販売が大幅に増加しました。

## &lt;プレス部門&gt;

地 域	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	1,992	82.9	2,396	74.1	20.3
海 外	410	17.1	837	25.9	104.1
合 計	2,403	100.0	3,234	100.0	34.6

主要顧客である自動車関連業界やその他の住宅などの建築関連業界において政府補助金の後押しもあり、プレスマシンの販売が増加しました。またM&Aにより取り込んだ自動化設備と既存のプレスマシンを組み合わせさせた大型案件の販売も増加し、シナジー効果を創出しました。

なお、各部門別の状況を合算した主要地域の状況は以下のとおりです。

(地域別売上収益の状況)

地 域	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	19,008	39.9	19,236	30.9	1.2
海 外	28,674	60.1	42,941	69.1	49.8
(北米)	(12,487)	(26.2)	(17,105)	(27.5)	(37.0)
(欧州)	(7,877)	(16.5)	(14,618)	(23.5)	(85.6)
(アジア他)	(8,310)	(17.4)	(11,218)	(18.1)	(35.0)
合 計	47,683	100.0	62,178	100.0	30.4

## (2) 財政状態に関する説明

財政状態の概要及び分析は以下のとおりです。

	前連結会計年度末 (2021年3月末)	当第1四半期連結会計期間末 (2021年6月末)	増減
流動資産(百万円)	307,009	306,427	△581
非流動資産(百万円)	250,288	249,652	△636
総資産(百万円)	557,298	556,079	△1,218
負債(百万円)	106,485	106,161	△324
資本(百万円)	450,813	449,918	△894
親会社所有者帰属持分比率	80.2%	80.2%	△0.0pt

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比較して、1,218百万円減少し、556,079百万円となりました。流動資産については、現金及び現金同等物や棚卸資産が増加した一方で、営業債権及びその他の債権の回収が進んだことにより前連結会計年度末比581百万円減少の306,427百万円となりました。非流動資産はその他の金融資産評価額減少などにより前連結会計年度末比636百万円減少の249,652百万円となりました。

負債は借入金の返済等により前連結会計年度末比324百万円減少し、106,161百万円となりました。また資本については、配当が利益剰余金の積み上がりを上回ったことで前連結会計年度末比894百万円減少の449,918百万円となり、これらの結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末と同じ80.2%に止まりました。

連結キャッシュ・フローについては、現金及び現金同等物の当第1四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ7,524百万円増の83,392百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動の結果、獲得した資金は16,578百万円であり、前第1四半期連結累計期間と比較し3,853百万円増加しました。その主な要因は、固定資産売却益を除く当期利益の増加によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動の結果、獲得した資金は623百万円であり、前第1四半期連結累計期間と比較し8,370百万円減少しました。その主な要因は、有価証券・投資有価証券の売却・償還による収入と設備投資による支出が見合う中、前年同期に有形固定資産売却による収入があったことによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動の結果、支出した資金は10,092百万円であり、前第1四半期連結累計期間より2,031百万円支出額が増加しました。その主な要因は、借入金の返済によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期における受注動向について、北米や欧州などを中心に当初の想定を大幅に上回ったこと、及び第2四半期以降も堅調な需要が見込まれることから、2021年5月12日に公表した業績予想値を下記のとおり修正いたします。

予想の前提となる第2四半期連結会計期間以降の主要為替レートは、1米ドル=105.00円、1ユーロ=125.00円を想定しており、通期の平均レートは1米ドル=106.12円、1ユーロ=126.74円となります。

	売上収益	営業利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	280,000	30,000	21,000	60.40
今回修正予想 (B)	300,000	36,000	26,000	74.79
増減額 (B-A)	20,000	6,000	5,000	—
増減率 (%)	7.1	20.0	23.8	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	250,448	26,705	18,564	53.40

なお、上記の予想数値は、現時点において得られた情報に基づき算出したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因によって変動する可能性があります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2021年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	75,868	83,392
営業債権及びその他の債権	115,534	105,621
棚卸資産	81,765	87,758
その他の金融資産	25,679	21,516
その他の流動資産	8,161	8,137
流動資産合計	307,009	306,427
非流動資産		
有形固定資産	160,270	161,922
のれん	6,067	6,088
無形資産	13,532	13,014
持分法で会計処理されている 投資	420	387
その他の金融資産	54,766	52,402
繰延税金資産	6,124	6,610
その他の非流動資産	9,106	9,227
非流動資産合計	250,288	249,652
資産合計	557,298	556,079

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間 (2021年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	42,009	44,252
借入金	11,220	8,741
未払法人所得税	2,034	2,157
その他の金融負債	3,014	3,756
引当金	1,755	1,858
その他の流動負債	25,085	26,091
流動負債合計	85,118	86,859
非流動負債		
借入金	3,690	1,843
その他の金融負債	10,127	10,009
退職給付に係る負債	3,072	3,149
引当金	6	6
繰延税金負債	1,116	1,072
その他の非流動負債	3,352	3,218
非流動負債合計	21,367	19,301
負債合計	106,485	106,161
資本		
資本金	54,768	54,768
資本剰余金	143,883	143,883
利益剰余金	252,315	251,279
自己株式	△12,092	△12,092
その他の資本の構成要素	8,202	8,227
親会社の所有者に帰属する 持分合計	447,077	446,066
非支配持分	3,735	3,851
資本合計	450,813	449,918
負債及び資本合計	557,298	556,079

## (2) 要約四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上収益	47,683	62,178
売上原価	△28,905	△36,052
売上総利益	18,777	26,126
販売費及び一般管理費	△19,643	△20,975
その他の収益	10,674	343
その他の費用	△1,129	△187
営業利益	8,679	5,306
金融収益	1,254	733
金融費用	△47	△137
持分法による投資利益	50	45
税引前四半期利益	9,936	5,948
法人所得税費用	△3,505	△1,721
四半期利益	6,431	4,227
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	6,424	4,179
非支配持分	6	47
四半期利益	6,431	4,227
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	18.48	12.02
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

## (3) 要約四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期利益	6,431	4,227
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融資産	762	△1,022
項目合計	762	△1,022
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	463	1,105
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する負債性金融資産	131	5
持分法によるその他の包括利益	△2	5
項目合計	593	1,116
その他の包括利益合計	1,355	94
四半期包括利益	7,786	4,321
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	7,739	4,204
非支配持分	46	116
四半期包括利益	7,786	4,321

## (4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分									非支配持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素				合計		
					その他の 包括利益 を通じて 公正価値 で測定 する金融 資産	在外営業 活動体の 換算差額	持分法に よるその 他の包括 利益	合計			
2020年4月1日残高	54,768	143,884	248,515	△12,089	2,002	△5,982	△5	△3,986	431,091	3,457	434,549
四半期利益	—	—	6,424	—	—	—	—	—	6,424	6	6,431
その他の包括利益	—	—	—	—	894	423	△2	1,315	1,315	40	1,355
四半期包括利益	—	—	6,424	—	894	423	△2	1,315	7,739	46	7,786
配当金	—	—	△8,343	—	—	—	—	—	△8,343	△0	△8,344
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—	—	—	△0	—	△0
自己株式の処分	—	△0	—	0	—	—	—	—	0	—	0
所有者との取引額等合計	—	△0	△8,343	△0	—	—	—	—	△8,344	△0	△8,344
2020年6月30日残高	54,768	143,884	246,595	△12,089	2,896	△5,559	△8	△2,671	430,487	3,504	433,992

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分									非支配持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素				合計		
					その他の 包括利益 を通じて 公正価値 で測定 する金融 資産	在外営業 活動体の 換算差額	持分法に よるその 他の包括 利益	合計			
2021年4月1日残高	54,768	143,883	252,315	△12,092	4,291	3,915	△4	8,202	447,077	3,735	450,813
四半期利益	—	—	4,179	—	—	—	—	—	4,179	47	4,227
その他の包括利益	—	—	—	—	△1,016	1,036	5	25	25	68	94
四半期包括利益	—	—	4,179	—	△1,016	1,036	5	25	4,204	116	4,321
配当金	—	—	△5,214	—	—	—	—	—	△5,214	△0	△5,215
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—	—	—	△0	—	△0
所有者との取引額等合計	—	—	△5,214	△0	—	—	—	—	△5,215	△0	△5,215
2021年6月30日残高	54,768	143,883	251,279	△12,092	3,274	4,952	1	8,227	446,066	3,851	449,918

## (5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	9,936	5,948
減価償却費及び償却費	4,095	4,328
金融収益及び金融費用	△1,268	△482
持分法による投資利益	△50	△45
固定資産除売却損益	△10,247	0
棚卸資産の増減	△1,365	△5,613
営業債権及びその他の債権の増減	20,041	10,212
営業債務及びその他の債務の増減	△8,144	2,385
退職給付に係る負債の増減	△281	△73
引当金の増減	176	91
その他	1,888	1,212
小計	14,781	17,965
利息の受取額	203	188
配当金の受取額	68	57
利息の支払額	△49	△23
法人所得税の支払額	△2,279	△1,609
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,724	16,578
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額	△833	1,060
有価証券の取得による支出	—	△4,000
有価証券の売却及び償還による収入	500	7,200
投資有価証券の売却及び償還による収入	5,533	1,193
有形固定資産の取得による支出	△4,761	△4,329
有形固定資産の売却による収入	9,753	102
無形資産の取得による支出	△1,122	△719
その他	△76	115
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,994	623
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	36	—
短期借入金の純増減額	957	△3,897
長期借入れの返済による支出	—	△364
リース負債の返済による支出	△675	△599
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△8,379	△5,229
非支配持分への配当金の支払額	△0	△0
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,061	△10,092
現金及び現金同等物に係る換算差額	330	415
現金及び現金同等物の増減額	13,986	7,524
現金及び現金同等物の期首残高	47,167	75,868
現金及び現金同等物の四半期末残高	61,153	83,392

## (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	金属加工 機械	金属工作 機械	その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸 表計上額
売上収益						
外部顧客からの売上収益	38,806	8,559	317	47,683	—	47,683
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—	—
合計	38,806	8,559	317	47,683	—	47,683
セグメント利益又は損失(△)	8,793	△296	182	8,679	—	8,679
金融収益						1,254
金融費用						△47
持分法による投資利益						50
税引前四半期利益						9,936

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、営業利益と調整を行っております。

3. 金属加工機械事業の「セグメント利益又は損失(△)」には、小牧工場売却に伴い計上した売却益を含んでおります。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	金属加工 機械	金属工作 機械	その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸 表計上額
売上収益						
外部顧客からの売上収益	50,821	11,053	303	62,178	—	62,178
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—	—
合計	50,821	11,053	303	62,178	—	62,178
セグメント利益	4,183	904	218	5,306	—	5,306
金融収益						733
金融費用						△137
持分法による投資利益						45
税引前四半期利益						5,948

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足情報

## 受注及び販売の状況

## 1. 受注状況

部門別	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)				当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)			
	受注高		受注残高		受注高		受注残高	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
板金部門	32,794	70.5	47,702	76.0	61,040	72.0	69,686	76.3
微細溶接部門	4,674	10.0	4,984	7.9	8,092	9.5	7,452	8.2
切削・研削盤部門	6,217	13.4	4,806	7.7	10,110	11.9	7,414	8.1
プレス部門	2,523	5.4	5,303	8.4	5,229	6.2	6,741	7.4
その他	317	0.7	—	—	303	0.4	—	—
合計	46,526	100.0	62,797	100.0	84,776	100.0	91,295	100.0

## 2. 販売実績

部門別	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
板金部門	33,714	70.7	44,969	72.3
微細溶接部門	5,092	10.7	5,852	9.4
切削・研削盤部門	6,155	12.9	7,819	12.6
プレス部門	2,403	5.0	3,234	5.2
その他	317	0.7	303	0.5
合計	47,683	100.0	62,178	100.0